



「コーディネーターニュース」が今年度も発刊されることに関係者の皆様に心よりの敬意と感謝を申し上げます。元よりロータリー活動は会員の皆様の熱意に因るところが基本であります。このコーディネーターニュースを通じて国際ロータリーの現状の最新ニュースが届けられることと思います。

私はこの7月より国際ロータリー理事を拝命しましたが、何分浅学非才でありますので、皆様方のご指導をお願いする次第です。国際ロータリー理事として、斎藤理事と共に、日本のロータリーが世界から乖離しないように努めるのが責務と考えております。ロータリーコーディネーター並びにコーディネーター補佐の皆様は、会員の皆様と国際ロータリーとの最前線の接点であると思います。このコーディネーターニュースをご活用されますことを祈念致します。

今、世界は全ての分野で「変革」がキーワードです。ロータリーも同様です。変わることを楽しむのが成熟といふのではないかと考えるようにしております。  
国際ロータリー理事 石黒慶一

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 取引のすべてにおいて公正に競争し、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別コースを薦める人びとを除き、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- ロータリー中ほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。



公共イメージと認知度の向上=世間の方々に良いイメージで認められる

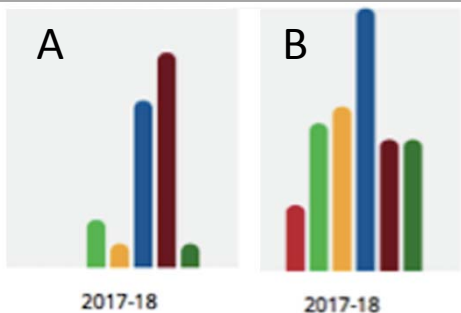
公共イメージと認知度の向上とは「世間の方々にロータリーを良い印象で知って頂く」事です。そして、世間の方々はロータリー（又はロータリアン）がどんな旨い事を言っても、云っている事よりもロータリアンの行動を見て判断します。

つまり、ロータリアンの日頃の行動が一番大切です。これは大変だ！常に見張られているのだろうか？そんな心配は無用です。第一、四六時中人の目を気にしなければならぬなんて、そんな緊張は持続できません。普通に行動すればよいのです。

但し、次の事を忘れないでください。  
「奉仕・親睦・多様性・高潔性・指導力」つまり中核的価値観と云われている5項目。「中核的価値観」とは難しい言葉ですネ。我々の「行動規範」と受け留めましょう。行動規範を念頭に置いて生き活きと輝いた行動をとりましょう。

又、日頃からロータリー活動だけに偏らないで、地域や広域の業界活動に参加しましょう。又、地域自治会や消防団、交通安全協会活動にも参加しましょう。これらの活動に参加すること自体が（地域社会）奉仕活動です。地域の奉仕活動には加わらないで、「私は日頃から奉仕活動を行っている。」と言っても、通用しないでしょう。地域の経済活動、すなわち地元商工会や商工会議所活動、法人会や労働基準協会等にも、お誘いが有れば加わりましょう。お誘いが無いのにこちらから売り込むのはおかしいですが、お誘いが有ったら協力しましょう。

ロータリー活動に一所懸命になって居て、「私はロータリーが忙しいので、他の会の活動は出来ません。」等と云う事は間違っても言わない様にしましょう。その様に心掛ければ、世間の方々のロータリー（ロータリアン）に対する評価は、必ずや上がる事でしょう。  
第1ゾーン RPIC 鈴木秀憲



|          | 2017-18 | 2017-18 |
|----------|---------|---------|
| ● 29 歳以下 | 0       | 0       |
| ● 30-39  | 0       | 4       |
| ● 40-49  | 2       | 9       |
| ● 50-59  | 1       | 10      |
| ● 60-69  | 7       | 16      |
| ● 70 歳以上 | 9       | 8       |
| ● 未報告    | 1       | 8       |

クラブの後継者を育成しましょう

左のグラフは同じ都市のほぼ同じ時期に創立した2つのクラブをMy Rotaryのデータから年齢別会員数の比較をしたものです。当初の会員数は同じくらいで推移していましたが創立30年目位から少しずつ会員数に変化が見られるようになりました。

さて、このグラフからどんなことが連想されるでしょうか？5年後、10年後を想像してみましょう。Aクラブの会員は大変仲が良く、クラブの運営には満足しているようです。

皆さんならAクラブにどんなアドバイスをされるでしょうか？

ヒントとしては「柔軟なクラブの運営」として例会スケジュールの変更、例会形式の多様化、出席要件の緩和、異なる会員種類の提供などがあります。

さらに、衛星クラブの導入により、現クラブとの差別化をしてハードル下げたクラブを提供することもできるでしょう。今月号で石黒慶一理事は『変わることを楽しむのが成熟といふのではないか』と述べております。「変える」勇気が必要ではないでしょうか？